



大好きです！ 笑顔とあいさつあふれる滝紅中

令和4年 7月 第5号

北区立滝野川紅葉中学校

校長 井口尚明

TEL 03-5907-5020

滝紅中だより

<教育目標> 学び考える人 優しく心豊かな人 鍛え努力する人

人間の行動は **心**が決める

東京都では、6月と11月、2月を「ふれあい月間」と定め、いじめや暴力、不登校などの問題に積極的に対応するよう各学校に求めています。

本校でも、一日1度は生徒に声をかけるなど、いつも以上に親身になった言葉かけや表情の確認を行って生徒たちの様子を注意深く観察するよう心がけました。また、いじめや嫌がらせ等に関する「生活アンケート」や「Q Uテスト」（学校生活意欲や学級満足度に関するアンケート）を実施し、必要な生徒には面談等を行いました。学校不適應を早期発見対応するために、1年生全員対象にしたカウンセラーによる二者面談も現在継続実施中です。

しかし、表面的な対応だけでは、学校不適應やいじめなどの問題行動の根本は解決されません。人間の行動を決めるのは、「心」です。問題行動の背景にある子どもたちの「心」の在り方を変える「心の教育」が不可欠だと思います。他人とのかかわり方や生き方、人間関係という切り口で道徳の授業を実施したり、仲間とのかかわり方を学べる行事の充実を図ったり、ボランティア活動を活発にしたりするなど、他者とふれあい、かかわり合う体験を通して「心」を育てていくことが大切だと考えます。今後も「心」の育成につながる取組を充実させてまいります。



<6月の1年生道徳授業>

滝紅中サブファミリー研修会

(校長日記より)

6月15日 北区内すべての地域で学校ファミリー研修会が行われました。滝紅中サブファミリー（滝紅中、滝二小、滝三小、たきさん幼、滝もみ小、谷端小）では、本校の1、2年生の授業を参観し、その後の研究協議会で、7つの分科会に分かれて滝紅中サブファミリーの方向性や連携を深めるための方法などについて話し合いました。

小と小の横の連携や幼小中の縦の連携を生かして先生方のつながりを深めることで、1校単独で行う教育活動よりもはるかに大きな教育力が生まれるはずです。

約1700名の滝紅中サブファミリーの子どもたちはサブファミリー全教員で育てていく、を合い言葉にして取り組んでいきたいと思ひます。



<2年生理科 幼小中の先生方が参観>

大好きです！ 滝紅中

6月ふれあい月間の全校朝礼で、いじめ防止に向けて次のような話をしました。

冒頭、中学校でよく起こる事例をもとにして、いじめ防止対策推進法が定める「いじめかどうかの判断」について説明をしました。

学校のいじめの特徴は、傍観している生徒がいじめを助長させていることです。もしいじめが起こったとしても、周りにいる生徒たちに「正義」の心があれば、被害を最小限にすることができます。 「正義」とは、何でしょうか？決して悪い人間をやっつけることではありません。つらい思いをしている人、困っている人を助けることが「正義」です。

この「正義の火」を滝紅中生全員の心に灯してほしいのです。正義の火を皆が持ち寄ることで「いじめは卑怯で最低の行為であり、絶対に許さない」という無言の雰囲気滝紅中全体に広がっていきます。いじめが生まれにくい学校をみんなの力で創るのです。今の滝紅中生なら必ずできます。何事にも学年や男女の枠を超えて全校生徒が協力できる滝紅中生なら必ず実現できるはず。いじめを許さないという「正義の火」を全員の心に灯して、「一番の学校は滝紅中です」と心の底から思える学校をみんなの力で創り上げていきましょう。そのために先生方も全力で頑張ります。



6組 宿泊学習大成功！

(6月22日～24日)

区内6中学校の特別支援学級合同宿泊学習が岩井学園を拠点として行われまい。交流レク大会や鴨川シーワールド散策、房総うちわ制作体験など、6組の生徒たちは何事にも積極的に取り組み、他校の仲間とも協力しながら楽しく活動することができました。自分のことは自分で責任を持って行おうという大切な目標も達成できていました。とくにキャンプファイヤーで披露したダンスはよく頑張りました。練習の成果を発揮して最高の出来映えでした。他校の生徒たちも手拍子で応えてくれて、会場全体が盛り上がりました。

